

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法概論		必修	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
高村 浩司	D307	takamura-pt	火曜日 12:30～15:00		
授業の目的・概要	理学療法士に必要な素養と資質を身につける。理学療法士の対象と業務内容を理解する。自分のなりたい理学療法士像を示すことができる。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 ( <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク )				
学習上の助言	教科書とスライドを用いて授業を進行する。必要に応じて適宜課題を提示し学生に意見・感想を述べてもらう。				
教科書	PT 入門 イラストでわかる理学療法概論 /監修: 上杉雅之 /医歯薬出版 /2020				
参考書	特に定めない				
外部教材	特に定めない				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	理学療法士の倫理を学習し、説明できる。			PT(1)～(6)	
②	理学療法の歴史を学習し、説明できる。			PT(1)～(6)	
③	理学療法士法を学習し、説明できる。			PT(1)～(6)	
④	理学療法の対象を学習し、説明できる。			PT(1)～(6)	
⑤	リハビリテーションの諸相を学習し、説明できる。			PT(1)～(6)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	理学療法の定義について学習する。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：理学療法士の定義について復習する	4	
2	理学療法士の倫理について学習する。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：理学療法士倫理規定の内容を復習する	4	
3	理学療法の歴史について学習する。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：国内における理学療法士の特性を復習する	4	
4	理学療法士と法律について学習する。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：理学療法士法の重要な条文を復習する	4	
5	理学療法の基盤について学習する。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：根拠に基づく理学療法について復習する	4	
6	理学療法の対象となる疾患を学習する。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：理学療法の対象となり易い疾患を復習する	4	
7	後遺症が残存する患者の障害受容過程と障害者心理について学習する。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：障害受容の過程を復習する	4	
8	実務経験に基づきリハビリテーション関連職種について学習する。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：チーム医療を構成する職種を復習する	4	
9	実務経験に基づきリハビリテーションの諸相を提示し、効率的な情報収集の方法をディスカッションする。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：理学療法の大まかな流れを復習する	4	
10	理学療法士の検査・測定過程を学習し、禁忌などをディスカッションする。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：検査・測定時の注意事項を復習する	4	
11	理学療法士の問題点抽出過程を学習し、ICIDH・ICF の違いについてディスカッションする。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：ICIDH・ICF の違いを復習する	4	
12	理学療法士の治療プログラム作成過程を学習し、原疾患の違いによる対応をディスカッションする。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：疾患ごとのプログラム内容を復習する	4	
13	理学療法士の保健、医療、福祉領域での業務を学習し、高齢社会にどう対応するかディスカッションする。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：病院での業務以外にどのような職域があるか復習する	4	
14	実務経験に基づき理学療法士の急性期→終末期までの職域を提示し、現状の問題点をディスカッションする。 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	復習：理学療法の可能性を復習する	4	
15	これまでの学習の総括 フィードバック：授業時間内に実施/意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	予習、復習：試験の準備学習	4	
試	定期試験				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	60	0	0	0	0	60
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	10	0	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	20	0	0	0	0	20
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント			評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法
評価方法	行動目標						
試験	①	✓	期末試験の出題形式は五者択一（及び二）の国家試験形式にて客観的試験を行う（100%）。				試験終了後、解説を行う中で設問の意図と模範解答を示す。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験		理学療法士として 30 年の実務経験有					
実践的授業の内容		オンラインにてディスカッションの場面を取り入れる。					
そ の 他		双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更を行う可能性があります。					